



学校だより

令和5年 4月28日

横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka/>



ICT 化の波に

校長 仲川 美世子

新しい仲間との生活が始まって3週間余り、だんだんと教師や友達とのやり取りに慣れたものの、緊張感が取れて疲れが出やすい頃です。ゴールデンウィークはお出かけなど楽しみながらものんびりとする時間もぜひ取ってほしいものです。

さて、新年度になって2年生以上では、新教室での学習初日に必ずやることがあります。iPadの移動です。普段 iPad は学級ごとの電源付き保管庫の中にしまっています。進級するとそれを前の教室に取りに行って、新しい教室の保管庫にしまうという作業があります。全学年一斉に行うと大変なことになるので、前年の6年生の分を新1年生用としてほかの教室で保管し、新6年生が前学年の教室から移動させ、空になったところに新5年生がしまっていく、ということも順次行っています。一人一台端末なので子どもたち一人ひとりにやってもらわないとできない作業です。今は授業で iPad を使うことはごく自然な流れになっていて、記録やメモをとったり意見を交換するときに使ったり、ポートフォリオにして作品カードや学習カードをためていくような使い方もしています。学習活動になくはならないものになりました。

しかし、その使い方についてはまだまだ発展途上です。iPad はただの記録ツールではなく、全世界につながることでできるツールです。信じられないほど多くの情報が詰まった魔法の箱です。大人でも知りたい情報を手に入れるために使い始めると止まらなくなることもあるでしょう。それが子どもたちの手の中にあるのです。横浜市教育委員会としての一定の規制はありますが、最終的には子ども本人の自主性にゆだねられてしまいます。この便利な機械を自分のために本当の意味で便利な道具として使っていくためにはある程度誘惑に負けない強い意志が必要になると思います。

このように、IT 機器をはじめ、人間が作り出した機械というものはとても便利なものですが、その便利さを享受するためには結局人の力がとても大切になると思います。今行われている新校舎建築工事では、ついに巨大なクレーンと杭打機が立ち上がっています。これらはいくつかのパーツに分かれて運ばれてきたのですが、それを現場で組み立てるのは人間の繊細な操作によるものでした。時々職員室からのぞいているのですが、大きな機械をミリ単位で調整しながら、ボルトの穴を合わせ、締める作業も人力で行っていました。

この先ますます、機械やコンピュータを駆使する世の中になると思います。それを正しく判断して、よりよく使いこなせる人としての力を育てていかなければならないと感じています。

4月号の職員紹介で抜けていたところがありました。 図工専科として 伊藤 真梨子教諭が勤務しています。